



## 1 if design project とは？

あなたの“もし…”が、**茨城の未来**を変える。

フィールドワーク + 講義 + ワークショップ による実践型デザインプロジェクト

もしも茨城県が、魅力度ランキング全国1位になるならば…  
もしも茨城県が、世界一住みやすいエリアに選ばれるならば…  
そんな夢みtainなことを茨城県は本気で考えています。  
その発端があなたの考えたアイデアからと信じて。

全国都道府県魅力度ランキング5年連続最下位の茨城県と称されていますが、それを払拭するような未来のプロジェクトをあなたならどう描きますか？

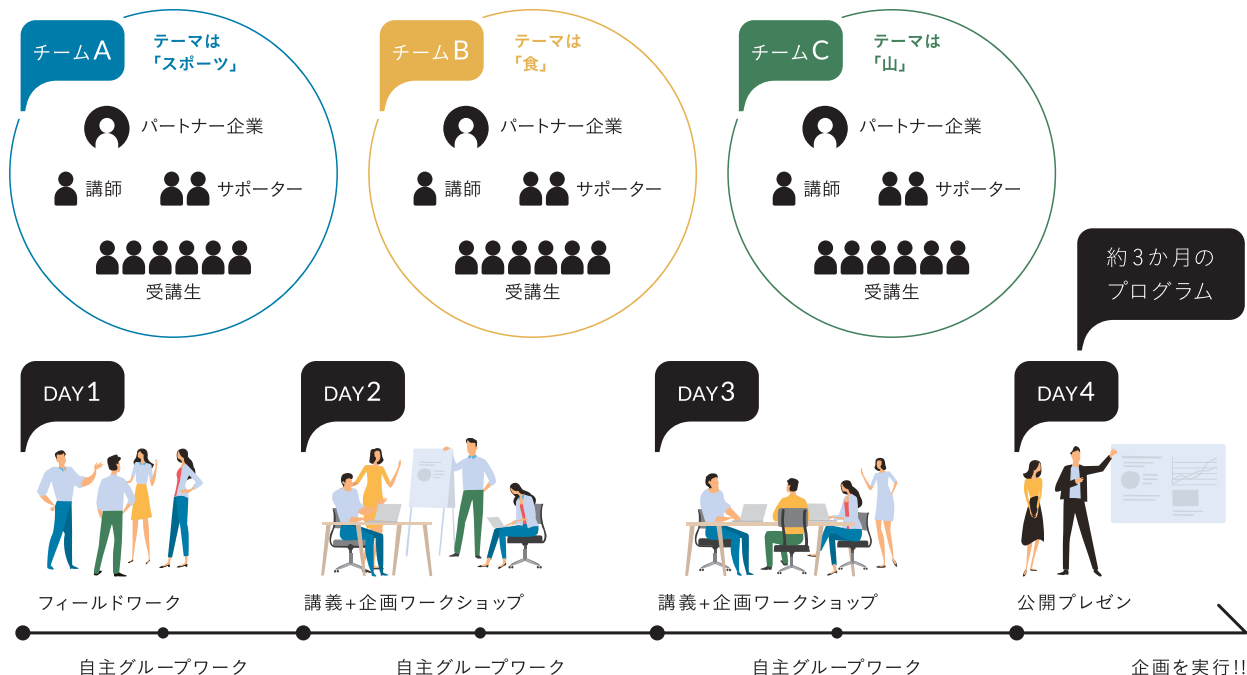
日本を、茨城を、地域を良くしようと活動が続ける様々な地元企業

のリアルな課題や茨城の魅力を、フィールドワークを通して学び、異なるバックグラウンドを持つ受講生たちと共に課題解決の企画を行います。

約3ヶ月間、茨城と東京で、「もし」自分たちだったら何をやるか、何ができるかを企画・デザインします。

if design projectは、地方を支える地元企業への、実践的な企画提案を通じて、企画力を育むとともに、一緒に企画・実行する仲間を見つけ、自らの今後の働き方、生き方を問い直すプロジェクトです。

プログラムは提案して終わりではなく、その後の地域・企業との関係性が築かれ、自分たちで実行していくことまでを想定しています。

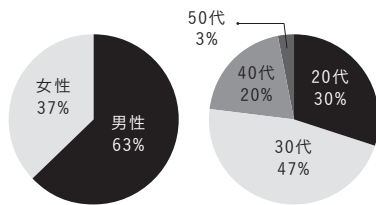


20名の募集をしたところ、**45**名が応募。

志望動機等を踏まえ、選考により、**30**名の受講生が参加。

#### 受講生の職種

- ・ クリエイティブディレクター
- ・ デザイナーなどのフリーランス
- ・ 総合商社や広告代理店等の会社員
- ・ 大学生 etc.



受講生の男女比

受講生の年齢構成比

#### 募集要項

##### 募集対象

- ・ 茨城県と関わりたいが、きっかけを探していた方
- ・ プロジェクトデザインを体感したい方
- ・ 普段と異なる社会人とチームを組み共創し、自らの可能性を広げたい方
- ・ 地方で何かコトを起こし、自らの生き方や働き方を考えてみたい方
- ・ 自らの経験（デザイン、マーケティング、プロモーション、事業企画、コピーライティング、まちづくりなど）を活かしてみたい方
- ・ とにかく茨城が好きで仕方がなく、茨城に貢献したい方、いつか茨城で住む、働いてみたい方

##### 参加条件

- ・ 熱意とスケジュール通り参加できること

##### 募集人数

- ・ 20人（※応募多数につき30人が参加）

##### 参加費用

- ・ 3万円



### 3 テーマ(2018年度)



「スポーツ × 地域」

**廃校を活用したクラブハウスやスポーツを  
軸とした地方創生プランを企画**

「人が育ち、クラブが育ち、街が育つ」。そんな理念を掲げ、サッカークラブ随一の地域貢献活動を行う水戸ホーリーホック。この地域貢献活動の「量」だけでなく、「質」を見直し、地域貢献活動の在り方(ビジネスモデルや活動自体)をデザインします。また、廃校を利用したクラブハウス「アツマーレ」のさらなる活用を通じた地方創生プランを考えます。



「食 × 地域」

**「笠間の栗」地域ブランド確立へ  
総合的なブランディング案を企画**

茨城県は栗の生産量が日本一。中でも笠間市は県随一の栗の産地ですが、対外的な認知度に課題があります。そこで「知名度日本一の栗」にしていくため、「笠間の栗」自体の「伝え方」を、マーケティング・プロモーション、キャッチコピー等、様々な面からデザインします。また、将来的な栗農家の担い手や、栗を通じた地域の活性化プランについても考えます。



「山 × 地域」

**歴史と伝統ある筑波山  
新たな人の誘引策を企画**

関東平野唯一の百名山である筑波山。その周辺エリアは歴史ある街並みが広がっています。トレイルラン・ヒルクライムなど、多様な「体験・アウトドア型の観光」需要等を踏まえ、観光だけにとどまらない観点から、これまでにない層の人や企業を誘引する企画を考えます。また、その企画の先に、この地への移住・定住までつなげていくストーリーを考えていきます。



「スポーツ × 地域」

坂口 淳

ATSUSHI SAKAGUCHI

AS,inc.代表。

大手私鉄会社入社後、沿線の街づくりでスポーツ施設の開発運営に携わり2003年に独立。現在はサッカースクールで子供たちの育成と、スポーツ施設開発やスポーツによる街づくりを行う。

最近は地方での「スポーツ×農×アート」をテーマにし、2012・2015越後妻有大地の芸術、2013瀬戸内国際芸術祭、他に参加。



「食 × 地域」

徳田 祐司

YUJI TOKUDA

クリエイティブディレクター／アートディレクター。電通、オランダのクリエイティブエージェンシーを経て、2007年、デザインエージェンシー、canariaを設立。ブランドのコンセプトメイキング、世界観作りから広告までのトータルデザインにおけるアート＆クリエイティブディレクションを行う。

代表作に、いろはす、FLOWFUSHI全ブランド、UNIQLOグローバルキャンペーン等。



「山 × 地域」

金子 愛

AI KANEKO

(株) R.project執行役員。

茨城県大洗町出身。法政大学を卒業後、都内の人材系企業を経て、千葉県富津市金谷での町おこしプロジェクト、NPO KANAYAに参画。金谷に移住し、廃墟をリノベーションし、KANAYA BASEとして再生させる。

2015年にR.projectに参画し、新規事業／施設／プロジェクトの立ち上げ、採用、広報などを担う。

# DAY 1 - Fieldwork

食×地域(笠間市)



スポーツ×地域(城里町)



懇親会の様子



食×地域(つくば市)



## DAY 2-3



講義の様子



企画ワークショップの様子







平日の夜集まってミーティング

提案前の造り込み休日ワーク



地元の方々と交流

自主的に地方へヒアリング



## DAY4 - Presentation

集合写真



約70名の方が参加

プレゼンと合わせた制作物



オブザーバーとして茨城県知事も出席



@ LODGE, TOKYO

## 5 各チームの提案内容(2018年度)

### スポーツ × 地域



#### 地元の人とコラボレーションしてつくる フットボールパークを提案

プログラム期間中に、実際に地元のキーマンとつながり、自分たちの企画の実現性を高めたうえで、地元の人たちと共創してつっていくフットボールパークを提案。

### 食 × 地域



#### 地域ごとに特色のある「笠間の栗」の 魅力を伝える仮想の学校プロジェクト

笠間の栗農家へヒアリング調査し、多品種である「笠間の栗」を収穫体験、料理教室等を通して学ぶ場づくりを提案。入学案内やロゴ等の高いクリエイティブを披露。

### 山 × 地域



#### 筑波山のプラットフォームとなる WEBやアプリを提案

筑波山の魅力は点在し、どこにいけばその情報がとれるか曖昧な課題があるなか、その情報プラットフォームとなるWEBサイトやアプリを実際につくり、披露。



if design project

茨城未来デザインプロジェクト

[www.if-design-project.jp](http://www.if-design-project.jp)

主催：茨城県 企画・運営：株式会社リビタ、茨城移住計画 冊子デザイン：山下大介（if design project第1期生）